

ALMA 共同科学研究事業 平成 28 年度採択項目

武藤恭之氏（工学院大学）

■研究タイトル

ALMA で解明する原始惑星系円盤構造と惑星形成過程

■研究概要

ALMA 望遠鏡の高空間分解能観測（0.1 秒程度かそれ以下の分解能）を用い、原始惑星系円盤の詳細構造の観測を行う。それらの観測から、円盤におけるガスやダストの分布を明らかにする。また、原始惑星系円盤における力学的過程を考えることで、現実的な原始惑星系円盤においてどのようなことが起こっているのか、その物理過程を明らかにする。他の波長の観測なども組み合わせることで、原始惑星系円盤の姿を明らかにし、そこで起こる（あるいは、すでに起こっている）惑星形成の過程に関する知見を、実際の観測に基づいて深めていく。